



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 東映株式会社 上場取引所 東
コード番号 9605 URL <https://www.toei.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 文雄
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 山内 敬 (TEL) 03(3535)4641
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	86,618	1.4	14,840	△22.8	18,494	△16.9	7,142	△27.1
2023年3月期第2四半期	85,422	47.1	19,230	87.5	22,243	87.0	9,791	118.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 20,584百万円 (14.0%) 2023年3月期第2四半期 18,061百万円 (66.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	576.88	—
2023年3月期第2四半期	789.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	393,016	298,944	57.0
2023年3月期	379,889	283,172	56.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 223,995百万円 2023年3月期 212,621百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	100.00	130.00
2024年3月期	—	30.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期 期末配当100円00銭には、特別配当70円00銭が含まれております。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,200	△16.7	21,800	△40.0	25,200	△37.3	11,800	△21.5	953.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	14,768,909株	2023年3月期	14,768,909株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,386,985株	2023年3月期	2,387,407株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	12,381,747株	2023年3月期2Q	12,402,586株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和により、経済活動の正常化とインバウンド需要の回復が進み、個人消費にも持ち直しの動きがみられるようになりましたが、資源価格の高騰や円安進行による物価上昇等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、映像関連事業を中心により一層のコンテンツ事業の強化及び効率的な活用を図り、堅実な営業施策に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は866億1千8百万円（前年同四半期比1.4%増）、経常利益は184億9千4百万円（前年同四半期比16.9%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は71億4千2百万円（前年同四半期比27.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 映像関連事業

映画事業では、提携製作作品等26本を配給し、このうち「劇場版アイドリッシュセブン LIVE 4bit BEYOND THE PERIOD」が大ヒットし、「映画プリキュアオールスターズF」は好調なスタートとなりました。また、前連結会計年度における公開作品のうち、「THE FIRST SLAM DUNK」（12月3日公開）が引き続き好稼働しました。一方、第1四半期連結会計期間に公開した「聖闘士星矢 The Beginning」の棚卸資産評価損を計上したこと等が利益を押し下げる要因となりました。

テレビ事業では、「特捜9」「科捜研の女」「王様戦隊キングオージャー」等を制作して作品内容の充実と受注本数の確保に努め、キャラクターの商品化権営業は玩具等に関する消費者の嗜好が多様化するなか、堅調に推移いたしました。

コンテンツ事業では、劇場用映画等の地上波・BS・CS放映権及びビデオ化権の販売に加え、VOD（ビデオ・オン・デマンド）事業者向けのコンテンツ販売等を行うとともに、劇場用映画のDVD・ブルーレイディスク作品やテレビ映画のDVD・ブルーレイディスク作品を販売いたしました。アニメ関連では、「THE FIRST SLAM DUNK」の海外上映権販売や「ワンピース」の海外配信権販売に加え、「ONE PIECE FILM RED」等の国内の映像配信権販売が好調に稼働しました。

以上により、当セグメントの売上高は644億3千1百万円（前年同四半期比3.3%減）、営業利益は129億3千5百万円（前年同四半期比30.8%減）となりました。

② 興行関連事業

映画興行業では、当第2四半期連結会計期間末現在において、220スクリーン体制（東映㈱直営館2スクリーン含む）で展開し、㈱ティ・ジョイ運営のシネコンが好調に稼働しました。

以上により、当セグメントの売上高は109億8千万円（前年同四半期比13.4%増）、営業利益は13億4千7百万円（前年同四半期比68.0%増）となりました。

③ 催事関連事業

催事事業では、「暴太郎戦隊ドンブラザーズファイナルライブツアー2023」「ひろがるスカイ！プリキュア おでかけ！ひろがるワールド！」等の各種イベントを開催したほか、映画関連商品の販売及び催事関連商品の通信販売を行いました。また、東映太秦映画村は堅調に推移しました。

以上により、当セグメントの売上高は43億1千2百万円（前年同四半期比4.9%増）、営業利益は8億2百万円（前年同四半期比58.2%増）となりました。

④ 観光不動産事業

不動産賃貸業では、「プラッツ大泉」「オズ スタジオ シティ」「渋谷東映プラザ」「新宿三丁目イーストビル」「広島東映プラザ」等の賃貸施設が稼働いたしました。ホテル業においては、インバウンド需要や団体利用の回復が見られる反面、光熱費等の物価高の影響を受けております。このような状況のなか、価格改定やコスト管理の徹底に努めるなど収益の確保に努めました。

以上により、当セグメントの売上高は30億7千5百万円（前年同四半期比12.4%増）、営業利益は12億5千万円（前年同四半期比37.1%増）となりました。

⑤ 建築内装事業

建築内装事業では、景気見通しが不透明ななか、民間設備投資は増加基調にあり、建設需要は堅調な動きを見せております。一方、幅広い資機材の価格が上昇し、受注や調達における対策が必要な状況にあります。このような状況ではありますが、従来の顧客の確保及び受注拡大を目指して積極的な営業活動を行い、シネコン関係の工事等を手掛けました。

以上により、当セグメントの売上高は38億1千8百万円（前年同四半期比66.4%増）、営業利益は1億2千5百万円（前年同四半期比479.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、3,930億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ131億2千7百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が64億3千3百万円、仕掛品が14億7千4百万円、流動資産のその他が38億2千7百万円、投資有価証券が66億4千1百万円増加し、商品及び製品が32億3千6百万円、投資その他の資産のその他が26億5千2百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、940億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億4千5百万円減少しました。これは主に、固定負債のその他が10億円増加し、支払手形及び買掛金が6億8千万円、未払法人税等が29億7千9百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、2,989億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ157億7千2百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が58億5千3百万円、その他有価証券評価差額金が44億3百万円、為替換算調整勘定が10億6千万円、非支配株主持分が43億9千8百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、現時点においては、2023年5月15日発表の業績予想に変更はありません。なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	93,614	100,047
受取手形、売掛金及び契約資産	37,950	37,930
商品及び製品	6,067	2,831
仕掛品	12,498	13,973
原材料及び貯蔵品	192	712
その他	4,960	8,788
貸倒引当金	△58	△54
流動資産合計	155,226	164,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,134	34,730
土地	51,473	51,963
その他(純額)	3,778	3,707
有形固定資産合計	90,387	90,401
無形固定資産	1,785	1,875
投資その他の資産		
投資有価証券	111,866	118,508
その他	20,773	18,121
貸倒引当金	△150	△118
投資その他の資産合計	132,489	136,511
固定資産合計	224,662	228,788
資産合計	379,889	393,016
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,226	31,545
短期借入金	350	790
1年内返済予定の長期借入金	1,229	1,212
未払法人税等	7,376	4,397
賞与引当金	1,403	1,422
その他	14,956	15,158
流動負債合計	57,543	54,527
固定負債		
長期借入金	13,987	13,383
役員退職慰労引当金	310	353
役員株式給付引当金	261	143
退職給付に係る負債	4,870	4,919
その他	19,743	20,744
固定負債合計	39,173	39,544
負債合計	96,716	94,071

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,707	11,707
資本剰余金	22,656	22,679
利益剰余金	156,768	162,622
自己株式	△11,598	△11,590
株主資本合計	179,533	185,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,479	24,882
繰延ヘッジ損益	△7	△3
土地再評価差額金	11,449	11,449
為替換算調整勘定	1,326	2,386
退職給付に係る調整累計額	△160	△139
その他の包括利益累計額合計	33,087	38,576
非支配株主持分	70,550	74,949
純資産合計	283,172	298,944
負債純資産合計	379,889	393,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	85,422	86,618
売上原価	49,852	53,299
売上総利益	35,569	33,318
販売費及び一般管理費		
人件費	6,324	6,672
広告宣伝費	1,266	2,082
賞与引当金繰入額	1,049	1,087
退職給付費用	225	359
減価償却費	742	904
その他	6,731	7,370
販売費及び一般管理費合計	16,339	18,477
営業利益	19,230	14,840
営業外収益		
受取配当金	1,166	676
持分法による投資利益	1,021	625
為替差益	268	1,842
その他	666	574
営業外収益合計	3,122	3,718
営業外費用		
支払利息	59	44
出資金運用損	—	14
その他	49	6
営業外費用合計	109	64
経常利益	22,243	18,494
特別利益		
投資有価証券売却益	—	11
特別利益合計	—	11
特別損失		
減損損失	—	58
固定資産除却損	4	35
その他	9	48
特別損失合計	13	141
税金等調整前四半期純利益	22,229	18,364
法人税、住民税及び事業税	5,395	5,140
法人税等調整額	184	△93
法人税等合計	5,580	5,047
四半期純利益	16,649	13,316
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,857	6,174
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,791	7,142

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	16,649	13,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△291	3,957
繰延ヘッジ損益	△0	8
為替換算調整勘定	2,897	2,365
退職給付に係る調整額	△16	△25
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,175	962
その他の包括利益合計	1,412	7,267
四半期包括利益	18,061	20,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,658	12,631
非支配株主に係る四半期包括利益	8,403	7,952

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,229	18,364
減価償却費	1,640	1,768
減損損失	—	58
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△36
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	137	48
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△24	△16
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△535	43
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	55	△118
賞与引当金の増減額(△は減少)	194	19
受取利息及び受取配当金	△1,248	△1,098
支払利息	59	44
出資金運用損益(△は益)	—	14
持分法による投資損益(△は益)	△1,021	△625
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△11
固定資産除却損	4	35
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△10,928	835
仕入債務の増減額(△は減少)	7,238	△1,953
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,086	1,264
預り保証金の増減額(△は減少)	△35	△2
その他	69	△3,038
小計	16,749	15,594
利息及び配当金の受取額	1,871	1,721
利息の支払額	△54	△44
法人税等の支払額	△2,899	△7,911
その他	426	78
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,093	9,438

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,116	△536
定期預金の払戻による収入	4,272	2,391
有形固定資産の取得による支出	△3,548	△1,171
無形固定資産の取得による支出	△320	△341
投資有価証券の取得による支出	△91	△301
投資有価証券の売却による収入	41	40
貸付けによる支出	△185	△10
貸付金の回収による収入	223	51
差入保証金の増減額 (△は増加)	22	△3
その他	△143	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,845	94
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,780	440
長期借入れによる収入	8,500	—
長期借入金の返済による支出	△2,013	△620
リース債務の返済による支出	△50	△236
配当金の支払額	△386	△1,288
非支配株主への配当金の支払額	△2,176	△3,584
その他	△729	58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,637	△5,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,048	1,453
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,659	5,755
現金及び現金同等物の期首残高	57,390	71,315
現金及び現金同等物の四半期末残高	66,049	77,070

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	映像関連 事業	興行関連 事業	催事関連 事業	観光 不動産 事業	建築内装 事業	計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	66,602	9,679	4,109	2,736	2,294	85,422	—	85,422
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,589	78	278	364	21	2,333	△2,333	—
計	68,191	9,757	4,388	3,101	2,316	87,755	△2,333	85,422
セグメント利益	18,703	801	507	911	21	20,945	△1,715	19,230

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,715百万円には、セグメント間取引消去△29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,686百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	映像関連 事業	興行関連 事業	催事関連 事業	観光 不動産 事業	建築内装 事業	計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	64,431	10,980	4,312	3,075	3,818	86,618	—	86,618
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,791	108	900	390	68	4,258	△4,258	—
計	67,222	11,088	5,212	3,465	3,887	90,876	△4,258	86,618
セグメント利益	12,935	1,347	802	1,250	125	16,460	△1,619	14,840

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,619百万円には、セグメント間取引消去△48百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,570百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。